

ハトムギ栽培情報 第4号

ハトムギは、成熟期近くまで水分を必要としますので、葉巻きなどの干ばつの症状が続く場合は、入水しましょう。

収穫は、茶褐色の子実割合が70～80%の時期に、速やかに行いましょう。

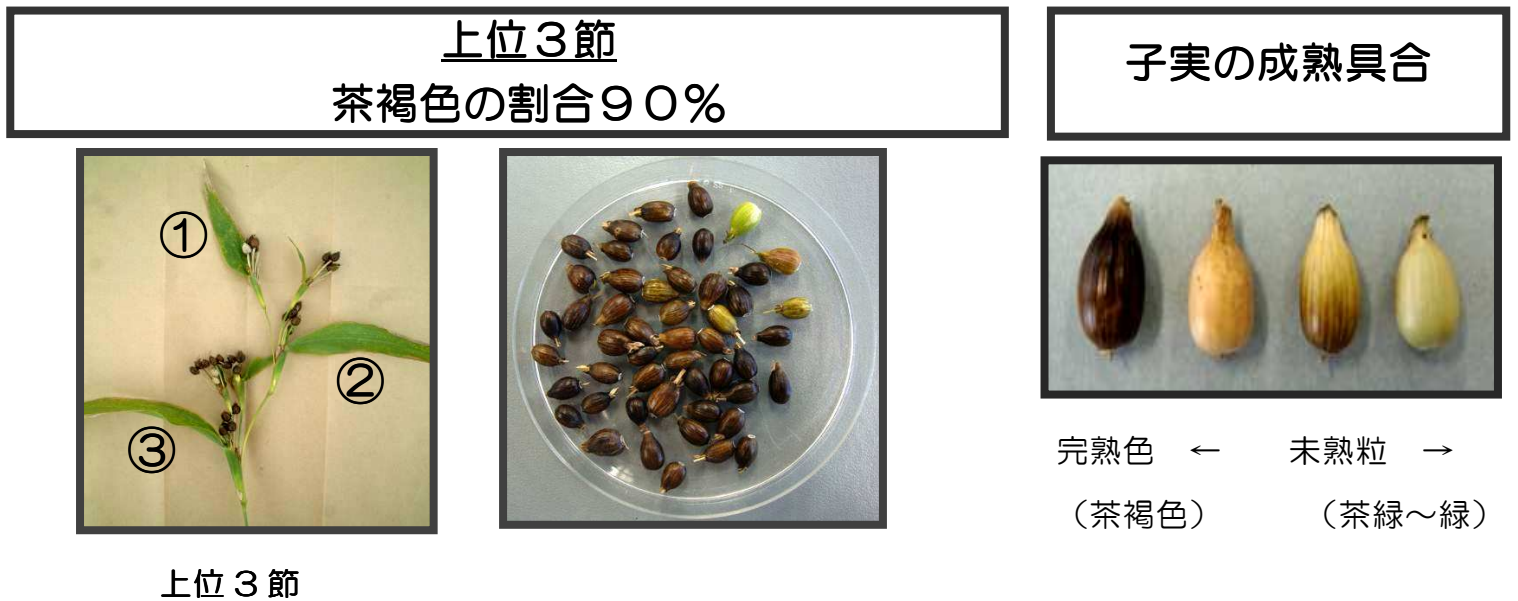
収穫後は、茎葉をフレールモア等で裁断して、害虫の越冬場所をできるだけ減らしましょう。

●収穫時期の判断

収穫適期は、茶褐色の子実の割合が主幹上位3節で90%、株全体では70～80%の時期（播種後から約130日が目安）です。

- ・ 収穫が早すぎる → 未熟粒が多くなり、歩留りが低下
- ・ 収穫が遅くなる → 収穫時の脱粒が多く収量低下

～登熟状況をしっかり確認してから刈り始めましょう～

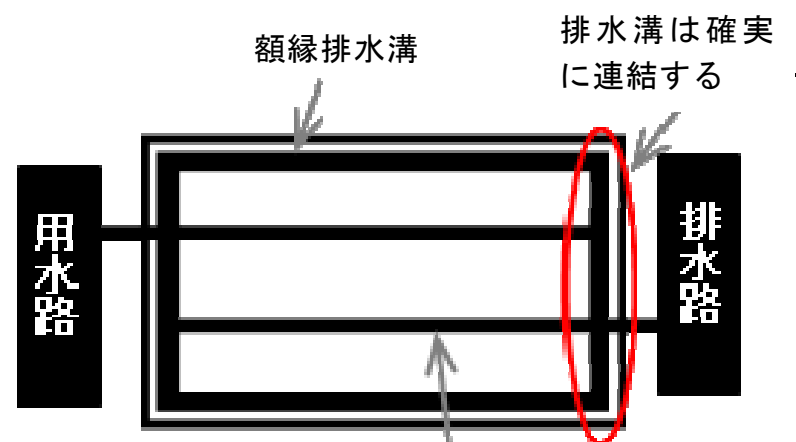


●刈り取り跡のほ場管理

収穫後の刈り株には、ネキリムシやアワノメイガ等の害虫の幼虫が潜んでいます。連作ほ場では、害虫の発生が年々多くなる傾向がありますので、フレールモア等で茎葉を裁断し、害虫の越冬源となる場所を減しておきましょう。

●来年度に向けた排水対策の徹底

来年ハトムギを作付予定しているほ場は、前作収穫後すぐに、排水溝の設置や心土破碎を実施し、排水を促進しましょう。



水がたまりやすいほ場では、ほ場中央部にも排水溝を設置しましょう。